

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

高砂香料工業株式会社（証券コード:4914）

【据置】

長期発行体格付	A-
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 国内最大手の香料メーカー。フレーバー（食品香料）、フレグランス（洗剤、化粧品などに使われる香料）のほか、アロマイングリディエント（メントールなどの合成香料）、ファインケミカル（医薬品中間体など）など事業領域は幅広い。早くから海外事業の拡大に取り組んでおり、売上高は世界でも上位に位置する。近年は成長余地の大きいアジアでの設備増強を積極化しており、17年のインドに続き、19年にはインドネシアで新工場が稼働する予定である。
- (2) 国内の香料事業は上位メーカーへの寡占が進んでおり、供給構造は安定している。そうした中、当社は大手の飲料メーカーやトイレタリーメーカーと幅広く取り引きするなど良好な顧客基盤を維持している。原料価格の変動がリスク要因となるが、不動産賃貸が安定収益源として下支えていることに加え、海外での事業基盤強化も進みつつある。このため当面の業績も底堅く推移すると考えられる。一方、財務基盤は引き続き安定した状態を維持可能とみられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 19/3期は営業利益49億円（前期比22.9%減）となる計画。国内や欧州のフレーバーの販売は好調なもの、原料価格の上昇や人件費、物流費の増加がマイナス要因となっている。原料価格の上昇に対しては、製品価格見直しや安定調達に向けた取り組みを進めており、業績の安定化につなげていけるか確認していく。19/3期からの中期経営計画では海外売上高の拡大を強く打ち出している。アジアを中心とした生産・販売体制は整ってきており、同地域での旺盛な需要を取り込めるかがポイントとなる。
- (4) 19/3期第2四半期末の自己資本比率は51.3%、D/Eレシオは0.5倍。有利子負債はおおむね横ばいで推移しているが、継続的な利益蓄積で自己資本の厚みは増している。19/3期の設備投資は76億円（前期比12億円増）を計画している。20/3期以降も事業基盤強化に向け、積極的な投資が続くことも想定される。ただ、手元流動性は厚く、キャッシュフロー創出力も安定しており、財務健全性が損なわれる懸念は小さい。

（担当）藤田 剛志・坂井 英和

■格付対象

発行体：高砂香料工業株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年11月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：

評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：

本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：

(発行体・債務者等) 高砂香料工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：

JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル